



防災塾・だるま×神奈川大学連携講座

# 新時代の防災力向上セミナー

報告と総括

# 「新時代」とは

- 2023年は関東大震災100年
- 昨年で阪神淡路大震災四半世紀
- 今年は東日本大震災10年
- 世界的感染症拡大を克服する闘いの最中
- 気候変動による激甚災害

# 「新時代の防災力向上セミナー」 講座の構成

回	開講月日	内容
第1回	2021/09/30	<p>◆近代の自然災害から目指す防災まちづくり【荏本 孝久】 ～災害史と防災対策の変遷、そして新時代の防災への展望～</p> <p>◆災害時でも自宅で10日以上生活するためのノウハウ【釜石 徹】 ～家庭の防災力を向上させれば災害は怖くない～</p>
第2回	2021/10/07	<p>◆発災から1時間以内の救出を目指す【原田 剛】 ～災害時に機能する自主防災組織～</p> <p>◆被災地で現実に起きていること【高松 清美】 ～被災地の現実に学ぶ防災まちづくり～</p>
第3回	2021/10/14	<p>◆女性視点の避難所運営【五十嵐ゆかり】※録画なし ～東日本大震災における支援活動から～</p> <p>◆自助・共助・公助の統合をめざして【鷺山龍太郎】 ～住民、学校、地域の多様な組織が連携・参画する防災まちづくり～</p>

## 第一回 ふりかえり

引用 近代の自然災害から目指す防災まちづくり【荏本 孝久】  
～災害史と防災対策の変遷、そして新時代の防災への展望～



Kanagawa University

### まとめ

### ～新時代の防災への展望～

- ・大規模な災害は**必ず起きる!!**
- ・災害と社会の歴史 → 記憶の伝承 → 変化に注目
- ・災害環境 → 地震の切迫性  
地球温暖化による気象災害の激化  
複合災害への危機
- ・直近50年の変遷=社会環境も自然環境も**急激に大きく変化**  
⇒ 阪神・淡路大震災 ⇒ 東日本大震災 ⇒
- ・災害 → 復旧・復興 → 長期間における社会・経済環境の変化  
物質的变化=陳腐化・脆弱化 ⇔ 社会的変化=価値観の変化
- ・ハードな対策 < ソフトな対応  
⇒ 具体的な方策は無く、個人**個人の意識の拡充**に期待
- ・課題を乗り越えるために → **災害を意識すること**  
**地域の環境を理解すること**  
**他者との関係性を大切にすること**  
**「正常化の偏見」を取り去ること**

# 荏本講師に学ぶこと

- 関東大震災依頼の歴史の俯瞰
- 災害の質も、社会の意識も大きく変化
- 気候変動関連災害の激化への対応
- 耐震等ハードの面は進んだが、人の意識と関係性の改善が必要
- （考察）時代の変化に対応し、個人の意識の拡充、他者との関係性の向上、正常性の偏見払拭の具体的方策を本会としては提言できるようにしたい。

# 災害時でも自宅で 10 日以上生活するノウハウ

～家庭の防災力を向上させれば災害は怖くない～

日時：2021年9月30日（木）15時20分～16時20分

講師：釜石 徹（災害対策研究会主任研究員、マンション防災士）

講演目次：

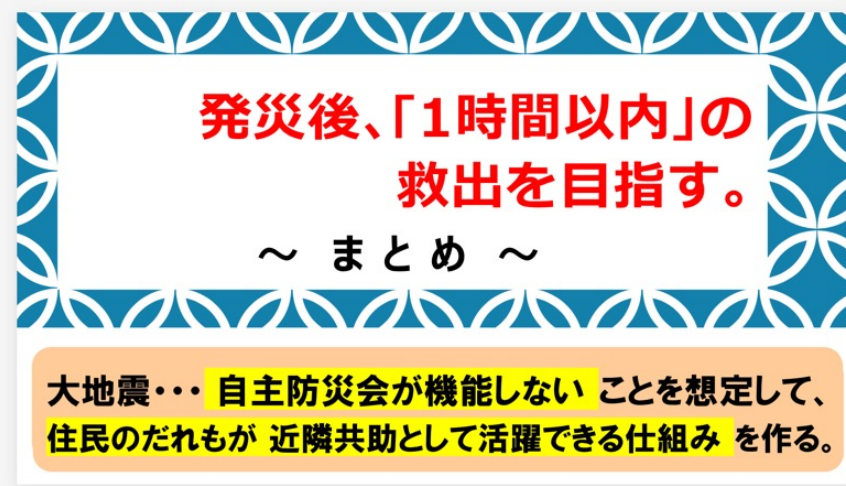
1. 防災対策の目的と方針
  - 1-1. 防災対策の目的
  - 1-2. 防災対策の方針
  - 1-3. 新型コロナ3密対策
2. 首都直下地震とは？
  - 2-1. 首都直下地震の予想震度分布
  - 2-2. 直下型地震の映像
  - 2-3. 首都直下地震による被害
  - 2-4. 携帯電話は使えるのか
3. なぜ避難所を頼ってはいけないのか
  - 3-1. 避難所の収容人数
  - 3-2. 横浜市の避難拠点の備蓄食料
  - 3-3. 新型コロナウイルス対策の配置図
  - 3-4. 避難所の一般的な状況
4. なぜ10日以上在宅避難が必要なのか
  - 4-1. 長期の停電となる災害とは？
  - 4-2. 停電期間を予測する
5. 自宅で死傷しない対策
  - 5-1. 家具転倒防止対策
  - 5-2. ガラス飛散防止フィルム
  - 5-3. 非ガラス化
  - 5-4. エアゾール式簡易消火具
  - 5-5. 停電時自動点灯ライト
6. 長期在宅避難の食事と水の備え方
  - 6-1. 在宅避難時の盲点
  - 6-2. 災害非常食の注意点
  - 6-3. ポリ袋調理
  - 6-4. 主食のローリングストック
  - 6-5. 10日間メニュー作成
  - 6-6. 飲料水の確保方法

# 釜石講師から学べたこと

- 防災対策の目的と方針の明確化
- 耐震化、家具固定等事前の減災対策こそ重要
- 在宅避難を基本とした自助力の向上
- 首都直下型地震では東京湾岸の火力発電所がダウンし、長期ブラックアウトを想定する必要。
- （考察）自助力を高めるためのコミュニティと個人とのつながりをどう構築するかを本会として考えたい。

## 第二回 ふりかえり

引用 ◆発災から1時間以内の救出を目指す【原田 剛】  
～災害時に機能する自主防災組織～



### 37. 新たな視点

- ① 震度に応じた、防災活動を考える。
- ② 発災直後、自主防災会は機能できないと想定
- ③ **自主防災会の役割**  
『近隣共助を支援する仕組み』を作っておく。

### 38. 『二段構え』の近隣共助システム

#### 初動・・・10分以内の救出

- ・50メートル圏内に『一時避難場所』と『道具』を置く。
- ・『リーダー』は、助けを求める人。
- ・並行して安否確認。3名チームで『命の叫び』を聴く。

#### 応援部隊・・・防災倉庫で強力な部隊を編成

- ・初動が完了した所は、防災倉庫に集まる。
- ・『救出隊・消火隊』の資機材を配置し、隊を編成する。
- ・エンジン始動など資機材の点検、予備燃料など確認。



# 原田講師から学べたこと

- 発災後 1 時間以内の状況の実態を直視
- 「自治会本部」を立ち上げてからは非現実的
- 発災直後に安否確認単位で救出・消化活動を自動的に発動
- 「一時避難場所」に救出用具（暗証番号で開けられる）で人と道具が即時調達。
- 「二段構えの近隣共助システム」自治会から強力な応援部隊
- （考察）J-DAG、「コミュニティ・タイムライン」との統合でより実戦的になるのでは。

## 第二回 ふりかえり

引用 ◆被災地で現実に起きていること 【高松 清美】

～被災地の現実に学ぶ防災まちづくり～

# 被災地で現実に起きていること

高松清美

### 避難所の出来事

- ・東日本大震災での避難所の様子が報道され見たと思います。
- ・物資をもらうのに整列してもらっている映像が流れたのを見た海外の人は日本人はマナーがいいといったそうです。

この様な避難所ばかりではありません。

- ・ある避難所では物資の取り合いがありました。

事例

- ・被災者の出来事  
レイプ事件

### 今までの災害を参考に

- ・被害を大きくしないために
- ・同じ事を繰り返さないために  
過去の災害を参考に
- ・自分の命は自分で守る事で  
他者も守れる(自助)
- ・お互いに協力して減災につなげる
- ・助け合いは減災につながる(共助)



# 高松講師から学べたこと

- 被災地では報道されていない多様な問題が発生している。
- 「自助・共助」ができなかった結果として避難所生活を余儀なくされている人も多い
- 「自助・共助」による事前の減災こそ防災の基本
- （考察）地域防災＝避難所運営訓練になっている実態がある。コミュニティとして、事前の自助力、共助力向上を組織的、計画的に進めなければならない。

# 引用◆女性視点の避難所運営【五十嵐ゆかり】※録画なし ～東日本大震災における支援活動から～

多文化医療サービス研究会 -RASC (ラスク) - <http://rasc.jp>

TOP RASCについて ママと赤ちゃんのサポート 各国の医療と文化のレポート Branch Birth(B.B) リンク集 お問い合わせ



**多文化医療サービス研究会**  
Researching and Supporting  
Multi-Cultural Healthcare Services

こんにちは！RASC（ラスク）です！  
RASCとは、多文化医療サービス研究会  
(Researching and Supporting Multi-Cultural Healthcare Services)  
の略です。  
日本に住む外国人のみならず、日本人と同じ医療を受けられるように  
サポートすることを目標としています。

**ママと赤ちゃんのサポート** 医療通訳関連

医療通訳  
学習テキスト

この冊子は、日本で出産・育児をする外国人女性とその家族を対象として作成されました。

医療通訳や学校通訳に関する情報は「RASCコミュニティ通訳支援センター」のサイトに最新情報を掲載しています。

詳しくはこちら

©Yukari Igarashi

## ママと赤ちゃんのサポートシリーズ

内容	12言語
1 産婦人科で聞かれること	中国
2 病院に連絡するとき	韓国
3 日本の出産について	英語
4 HDP	フィリピン
5 GDM	ドイツ
6 切迫流早産	フランス
7 GBS	ポルトガル
8 陣痛促進剤	ベトナム
9 パースプラン	タイ
10 出産のあとの生活	ロシア
11 授乳	ネパール
12 赤ちゃんについて	インドネシア
13 社会資源について	
14 予防接種	
15 よく使うことば	

©Yukari Igarashi

## 出産冊子の多言語冊子の配布 (12言語)



## 本日の内容

1. 陸前高田市の状況
2. スフィアプロジェクトの紹介
3. 被災地の女性の持つ課題
4. 女性を守る活動
5. 避難所について
6. 女性視点の避難所運営
7. 配慮が必要な妊婦、母子について

## スフィアプロジェクト

### 人権憲章と人道対応に関する支援の最低基準

**目的:** 災害や紛争における人道援助の質、および被災者への人道援助システムの向上。

**作成:** NGO、赤十字・赤新月社運動

**開始:** 1997年～

©Yukari Igarashi

ST. LUKE'S INTERNATIONAL UNIVERSITY  
Do your best, and it must be first class

### 人道憲章:

スフィアハンドブックの基礎。危機によって影響を受けたすべての人々が保護と支援を受ける権利を保有するという人道支援に関わる人々の共通認識を明文化。尊厳ある生活はこの権利によって保証されている。

### 権利保護の原則:

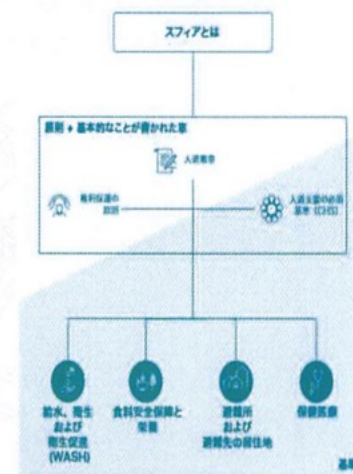
人道憲章に記載された法律原理と権利を、すべての人道支援に適用すべき4つの権利保護の原則にまとめている。

©Yukari Igarashi

ST. LUKE'S INTERNATIONAL UNIVERSITY  
Do your best, and it must be first class

## スフィアプロジェクト

支援活動をするときに最低限満たさなければならない基準とそれを可能にするポイントについてのガイドライン



©Yukari Igarashi

ST. LUKE'S INTERNATIONAL UNIVERSITY  
Do your best, and it must be first class

### 人道支援の必須基準(CHS)

最低基準の達成を目的とし、人道支援の質の保証と説明責任を実現するために、不可欠な工程と組織的責任を示す9つのコミットメントから成る。

### 技術的なことが書かれた4章:

主な支援分野の最低基準

- 給水、衛生および衛生促進
- 食料安全保障および栄養
- 避難所および避難先の居住地
- 保健医療

# 五十嵐講師から学べたこと

- 女性や乳幼児を想定した避難所運営を**Guideline**に明確にする必要
- スフィアプロジェクト、内閣府からの各種**Guideline**をもとにした避難所運営の最適化。
- （考察）阪神淡路大震災の避難所崩壊を学んできた本会として、女性や少数者の立場を配慮した参画型の防災、避難所運営を提言していきたい。

◆自助・共助・公助の統合をめざして【鷲山龍太郎】

～住民、学校、地域の多様な組織が連携・参画する防災まちづくり～

## マンションにおける 自助・共助・公助の統合

- 「公助」の理解   ハザードマップ等の読み取りと理解   消防署訓練
- 「共助」の組織化と活性化   コミュニティとしての指針の共通理解化
  - 安否確認の徹底
  - 籠城作戦                   →大火災時も広域避難場所へは行かない
  - 風水害に対するアクションプランの共有（今年）
  - 連合町内会との関係維持
- 「自助」への共助からのガイドと防災教育
  - 「居住者防災マニュアル」手渡しで配布・訓練参加勧誘
  - 「敬老の祝品」配布時に高齢者の確認   家具固定呼びかけ   勧誘
  - 「安否確認訓練」の実施
  - マンションホームページの開設(2020～)

「明文化」した「地区の防災計画」を共有し、運営すれば  
防災まちづくりは進展する。

# 鷺山提案

- 「自助、共助、公助の統合」は明文化されて共有された「わたしたちの防災計画」の存在で可能となる。
- 公助の動きを知り、ハザードマップや自治体防災計画の理解のもと、共助が自助を防災教育することで、自助力（意識、相互関係）が向上する。
- 防災塾・だるまとして、学んだことを「地区防災計画ガイドライン」として、自主防災組織、行政等に提案できないか。



# 災害・防災の構造と4つの砦

## 各砦の 任務

### 自助の砦 (家庭・個人)

耐震化・家具固定  
出火防止  
家庭内消火  
家庭内避難  
避難行動理解  
家族安否確認

トイレ自立  
水・食料備蓄  
電源・照明

### 共助の砦 (自治会等)

近隣安否確認  
救出活動  
応急手当  
消火活動  
避難誘導

水・食料配給  
要援護者支援

### 公助連携の砦 (学校・自治体・国)

避難所開設  
避難者トリアージ  
負傷者トリアージ  
感染症対策

消防・警察・自衛隊  
ボランティア受援

物資配給拠点  
情報拠点  
在宅被災者支援

### 災害医療の砦 (災害医療始動)

重症→災害拠点病院  
中等症→災害時救急  
病院  
軽症→診療所？  
地域防災支援は？  
ごく軽度→市民

DMAT支援  
自衛隊・他国軍

## 災害外力

地震・津波  
火災延焼  
風水害・土砂  
火山噴火

家屋倒壊  
火災発生  
逃げ遅れ  
死亡・負傷  
心的外傷

学校に逃げる刷り込み？

未救出  
救出遅れ  
逃げ遅れ  
火災延焼  
地域壊滅  
病院搬送遅れ

避難所崩壊  
トイレ崩壊  
災害関連死  
感染症拡大  
人権問題

地域医療機能停止  
医療崩壊  
未治療死  
入院患者被害  
通院患者被害  
災害関連死

# 鷺山全体総括

- (成果)

- 「自助・共助・公助連携」の柱で講座の一貫性はあった
- 会員への費用、労力の負担は低減できた
- 会員の拡大につながった

- (課題)

- 「記録」が計画になかった
- 本会の活動にどのように位置づけるか
- いずれは、各サロンからの発信の場、会員拡大の機会としたい。

防災塾・だるま×神奈川大学連携講座

# 新時代の防災力向上セミナー

報告と総括